

- 障がい児保育が「けやき保育園で3、4、5歳児各2名ずつという形だった20年近く前、その障がい児の対応の職員は正規の職員でした。重度の子が入った時は、3人の担任はとても大変そうでしたが、正職だから頑張れるのだろうと見ていました。正規3人でクラス25人（内2人障がいのある子）を見ている時と、枠をなくして対象児がいる時に臨職なり非常勤なりの対応で1：1にした今の形では、障がい児にとっての保育の質は、どちらが良いのでしょうか？ 1：1とか3：1とか数字だけの議論をしても始まらない。3：1はもしかしたら正規職員で配置されているかもしれない訳で、親の委員からも意見があったように、調べた結果を報告するだけではなく、それに基づいて小金井ではこうしたい、こうできるという提案でなければ会議の時間が無駄になっていると思います。
- 結局は財政難だから、というのを市は伝家の宝刀のように振りかざしてきますが、今時、「うちの市にはお金があります」という自治体はありません。無いお金をどう使うかがその自治体の考え方が出るところです。保育にかける総予算を増やしてもせずに、その中で小さくいじくりまわしてもラチがあくわけではありません。市としての予算の使い方をこの非常時—60人もの異議申し立てのあった自治体は他には無い筈です。一に、緊急にどうしていくか。待機児解消しかり、障がい児の保育に対しても同じです。部としてもっと市に主張して下さい。公立保育園が30年以上も増えていないと言うと、どこの市・区の人にも驚かれて恥ずかしいです。
- 801 に比べ、部屋が長細いせいでしょうか？ 各委員の声が大変聞き取りにくかったです。傍聴者の為に会議している訳ではないですが、馳せ参じたものにとっては残念です。